



学校だより

風薫る

令和7年(2025年)3月25日発行

第13号①

(1・2年最終版)
札幌市立北野中学校
(011)882-0754



<https://www.kitano-j.sapporo-c.ed.jp>

3月14日、第48回卒業式が行われ、卒業生126名が3年間生活した中学校を巣立ちました。

学校長 式辞

「夢なき者に成功なし」という言葉があります。

この言葉は、江戸時代の思想家・教育者である吉田松陰(よしだしょういん)が遺した言葉です。

彼が開いた松下村塾(しょうかそんじゅく)は、高杉晋作や伊藤博文など、明治維新に大きな影響を与えた人物がいたことで有名です。もともとは「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に夢なき者に成功なし。」という言葉なのですが、短く省略してつかわれることもあるようです。野球の大谷翔平選手の活躍で注目された「マンダラチャート」「夢ノート」にも通じるものがありますが、目標を定め、目標への道筋を計画し、実行することが大切だと教えてくれています。

君たちが、これからの人生を歩む時、ぜひ「夢」「理想」「計画」「実行」を意識してほしいと思うので伝えます。世の中は「多様性」を重んじる時代です。どのタイミングで意識するかは人それぞれでいいのです。

ご来場の保護者の皆様、お子様のご卒業、誠にありがとうございます。

本日、このように多くの方々のご参加をいただきましたこと、ご理解とご協力のうえて卒業式を行えたことを大変嬉しく思っております。保護者の皆様の、これまでの子育てのご苦勞をたたえ、そして、このように卒業式に臨(のぞ)み子供たちの立派な姿を、ともに喜びたいと思います。また、関係小学校・高等学校の校長先生をはじめ、地域町内会の皆様、本校PTA役員の皆様のご臨席を賜り、まことにありがとうございました。

結びとなりますが、君たちは私の着任の年の新入生です。三年間一緒に過ごしました。私もこの3月で北野中学校を去ります。一緒に入学し、一緒に卒業していく同期のような存在です。これからも応援しています。この先も多くの出会いから、多くの経験を積みあげてください。その出逢いと、人と人とのつながりが君たちの豊かな人生を創り、君たち一人一人を磨き上げてくれます。

思いを「言葉にすれば」、伝わる人が必ずいると信じて、「言葉にすれば」つながる人が必ずいると信じていきましょう。卒業おめでとう。



卒業生 答辞

厳しい冬の寒さの中にも、春の訪れを感じる季節となりました。

私たちは、今日、この北野中学校を卒業します。

今日は、私たちのために、このように温かな卒業式を開いていただき、ありがとうございます。来賓の皆様を始め、先生方、保護者の皆様にご臨席いただき、厳かに卒業できることを、卒業生を代表して厚く御礼申し上げます。

三年前、今まで着たことのない制服を身にまとい、入学式に臨み、中学校の第一歩を踏みだしたことが昨日のように感じられます。中学校生活を振り返ってみると、仲間たち、後輩のみなさんと共に過ごしてきた日々が思い出されます。

部活動では、私はバドミントン部に所属していました。バドミントン部は、「不撓不屈」つまり、「どんな困難にも負けず、挫折しないで立ち向かう」という言葉をスローガンとして掲げ、互いのプレーの改善点を出し合って上達することができました。また、部活の仲間たちとコミュニケーションを取ることで、互いに励まし合って部活を続けることができました。

学校行事では、特に文化祭や合唱コンクールで、たくさんの気付きがありました。文化祭では、一人一人が同じ一つの目標に向かって精一杯頑張りました。これは私たちの良さです。ステージ発表で、盛り上がる時は盛り上げて、手拍子をし、笑うときには笑い、

卒業生代表

しっかりと聞く場面では耳を傾け、発表する側と受け取る側とが一つになって感動を創り出しました。

合唱コンクールでは、交流会の際に、相手のクラスの良いところを褒めたり、改善点をアドバイスしたりして、互いのクラスの合唱をさらによりよいものにしようと思いました。

三年間の行事を振り返って気づくことは、私たちの学年は、自分自身のことだけではなく、学年全体をよりよくしようという気持ちを持っているということです。

生徒会活動では、私は、一年生の後期から二年間、役員を務めました。役員会では、七人という少ない人数でさまざまな議題について話し合い、意見を出し合って活動してきました。

今年度は、コロナが五類になったために、私たちが入学して初めて、全校生徒が体育館に入って、生徒総会や任命式を行いました。生徒会役員にとっても初めての経験でしたが、試行錯誤しながら、役員や多くの生徒の力でよい集会になるように準備し、当日はスムーズに行うことができました。生徒会活動で、最も印象に残っているのは、文化祭閉会式です。役員でたくさんの意見を出し合うことによって、学校旗プロジェクトや未成年の主張、という発想を生み出すことができました。

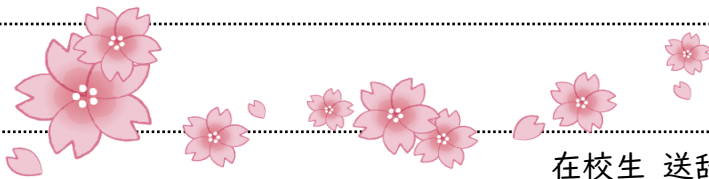
私たち卒業生は、嬉しい時も、辛い時も、北野中の生徒というプライドを持って学校生活を送ってきました。学年の粋をこえて、行事に熱中してとりくみ、ふだんからお互いの良い点はほめたり、応援したりするのが、北野中の誇るべきところです。次は、在校生の皆さんが北野中の生徒だという誇りを持ち、伝統を受け継ぎ、より良い北野中を作っていくてください。北野中の生徒だったことを誇りに思えるような学校であることを願っています。

仲間とさまざまなことを学び、協力し、切磋琢磨してきた中学校生活も、今日で幕を閉じます。小学校から始まった九年間の義務教育を終え、明日からは一人一人がそれぞれの道へと進んでいきます。これからは、今まで以上に山あり、谷ありの生活が待っていることでしょう。ですが、仲間と共に歩んできた、たくさんの経験が私たちの力になるはずです。今までの経験でつちかかってきたことを生かして、困難に立ち向かっていきましょう。

最後に、楽しかった時は一緒に笑い、悲しかった時には励ましてくれて、ここまで私たちを育ててくれた家族。ありがとうございます。また、たくさんの悩みを聞いていただき、勉強だけでなく、人間性を成長させてくださった先生方。ありがとうございます。小さい頃から温かく見守ってくださった地域の方々。ありがとうございました。私たちの後ろをついてきてくれた在校生のみなさん。ありがとうございました。そして、共に学び、共に成長してきた三年生。心の底から感謝しています。ありがとう。

これからも、いろいろな人から教わったことや、北野中学校で体験したことをもとに、自分の道を歩いていきたいと思います。

最後になりましたが、卒業生を代表し、もう一度、心からの感謝の言葉を申し上げます。本当に、ありがとうございます。そして、ひとりひとりが自分自身のことを信じて、成長していくことを誓い、答辞といたします。



在校生 送辞

冬の寒さが和らぎ始め、太陽の光やそよ吹く風の暖かさに春の気配が感じられる今日、三年生の皆さんは北野中学校を卒業されます。

新たな夢への大きな一歩を踏みだし卒業される皆さん、ご卒業おめでとうございます。

今、皆さんはどのような気持ちでこの卒業式に出席しているのでしょうか。北野中学校で過ごした日々を昨日のこのように思い出し、新たな目標や未来に胸をふくらませていることでしょう。私たちが、先輩方と過ごした二年間は長いようでとても短い二年間でしたが、こうして先輩方の姿を目にしておりますと私たち在校生も数々の思い出が溢れんばかりに浮かんでまいります。

二年前、中学校に入学してきたときに、慣れない制服を身にまとった環境の変化に不安や期待で戸惑っていた私たちに、この北野中学校のすばらしさを教えてくれたのは先輩方でした。緊張した私たちを温かい笑顔で迎えてくださったこと、いつでも中学校生活を全力で楽しんでいる姿が印象的な三年生でした。その後私たちは、行事のたびに先輩方の存在の大きさを知ることになりました。

文化祭では、最初の開会式から最後まですばらしい演出をし、三年生らしい明るい笑いと感動にあふれた文化祭となりました。色鮮やかなきれいな玄関装飾、そして体育館に飾られた圧倒的なスケールの壁画、文化祭が始まる前から、私の心はとてワクワクさせられました。そして、三年生の演劇には、一つ一つの言葉の重みや細やかな演出が感じられ、全校生徒の心に刻まれたシーンがたくさんありました。この文化祭のテーマでもあった、写真をとりたくなるような思い出が数多くできたと思います。文化祭がこれほど盛り上がったのは、先輩方の団結力、そして一人一人の楽しもうという強い思いがあったからだと思います。

私たちは、そんな先輩方の姿から最上級生として在るべき姿、それを貫くことの大切さを学びました。そして、次は私たちが北野中学校を引っ張っていくんだということを皆さんが、決意させてくだ

在校生代表

さいました。

私は、一年生の後期から生徒会役員を務めています。生徒会活動に参加したことがきっかけで先輩方と深く関わることになりました。先輩方全員がどんな時でも責任感を持ち、前向きにしっかりと自分の仕事をこなし、北野中学校のことを常に考えて活動している姿を見てきました。後輩を一番に気にかけてくれる優しさに触れて、思い出深い充実した日々を過ごすことができました。そんな先輩たちの姿は私たちの目にいつもまぶしく輝いて映りました。特に先輩たちと一緒に取り組んだ最後の活動、文化祭閉会式は前の年をさらに超え全校生徒に楽しく笑ってもらえるよう試行錯誤の連続でした。リハーサルをやっては、よりよくしていくために改善をくり返しました。その時も先輩方はアイデアをたくさん出し、やったことのないことも勇気をもって挑戦していました。その結果、これまで様々な場面で活躍し、何事にも全力でつき進み挑戦する先輩方のようにになりたい、そう強く心に思うようになりました。先輩方が築いてくれたものはとても大きく、超えられるか不安にもなります。しかし、今まで先輩方と過ごしてきた貴重な時間を思い出し、北野中学校の伝統がまたさらに続くよう全校生徒一同全力をつくして学校生活を送っていきます。

思い出が深い分、今日先輩方が北野中学校生活を終え旅立っていくことは本当に寂しく思います。ですが先輩方のこれからの明るい未来を私たちは応援したいと思います。

この先、起こることは楽しいことだけでなく大変なこともあるのかもしれない。しかし、北野中学校で過ごしていた時のように自らの目標に真っすぐ進んでいくのだろうと想像することができます。そして助けてくれる仲間がいます。

これからも、私たちの尊敬する先輩方として新たな場所で輝き続けてください。本当にありがとうございました。

最後になりますが、卒業生の皆さんの未来が明るく照らされますよう在校生一同心より願い、贈る言葉といたします。

